

# 第 1 部 調査の概要

## 1. 調査の目的

現在政府は男女共同参画社会基本法（平成 11 年 6 月制定）及び男女共同参画基本計画（平成 12 年 12 月策定）にのっとり、施策を推進しているところである。本調査は、こうした施策を効果的に推進していくために、国内のみならず国際的な視野のもと、諸外国の男女共同参画をめぐる意識や実態を的確に把握し、我が国の現状との比較検討を行なうことにより、我が国の男女共同参画に関する問題点を明確にし、今後の施策の推進に資することを目的とする。同時に、女性データについては、昭和 58 年に実施された総理府「婦人に関する国際比較調査」の結果と時系列で比較し、この 20 年間の日本及び国際社会の変化を把握することも目的とする。

## 2. 調査対象国及び調査対象者

### (1) 調査対象国

韓国、フィリピン、アメリカ、スウェーデン、ドイツ、イギリスの 6 カ国

### (2) 調査対象者

20 歳から 59 歳までの男女

## 3. 調査項目

- (1) 対象者の基本的な属性
- (2) 男女の地位に関する意識について
- (3) 職業生活について
- (4) 家庭生活について

## 4. 調査方法

### (1) 調査時期

平成 14 年 8 月～9 月

### (2) 標本抽出・使用言語

無作為抽出法による（各国詳細は下表参照）

標本回収は各国原則 800 サンプルとし、回収結果は以下のとおりである。

	標本抽出方法	回収 標本数	使用言語
韓国	2000 年の人口統計をもとに、国内を 15 の地域に分け、さらに 169 の地点を抽出、各地点の住民台帳から等間隔に抽出する層化二段無作為抽出法。	803	韓国語
フィリピン	地理的に 5 つの地域に分け、さらに 15 の地点を抽出、各地域内で年齢・性別により割り当て抽出。	800	英語と現地語（タガログ語、セブ語）
アメリカ	2000 年の人口統計をもとに、国内を 9 つの地域に分けさらに、性別年齢と都市規模により 100 地点を抽出。各地点内で年齢・性別により割り当て抽出。	801	英語
スウェーデン	地理的に 5 つの地域に分け、さらに都市規模により 29 都市を抽出、年齢・性別により割り当て抽出。	800	スウェーデン語
ドイツ	地理的に 7 つの地域に分け、さらに人口構成比に基づいて 294 の地点を抽出、各地点内で年齢・性別により割り当て抽出。	828	ドイツ語
イギリス	行政地域区分を都市規模により 7 つの地域に分け、さらに人口構成比に応じて 56 の地点を抽出、各地点で年齢・性別および雇用状況により割り当て抽出。（雇用状況による割り当てを行ったのは、面接調査のため失業者・パートタイム被用者のデータが多くなりゆがむのを防ぐため。）	825	英語

(3) 調査方法  
調査員による個別面接法

(4) 調査実施委託機関  
本調査の実施・集計は株式会社日本リサーチセンターに委託して実施した。なお、各国の調査機関は次の通りである。

韓国	Gallup Korea
フィリピン	Asia Market Intelligence
アメリカ	Kane and Parsons Associates
スウェーデン	Market Watch
ドイツ	GfK Marktforschung
イギリス	Market & Opinion Research International

**5. 調査の内容**

2002年調査については、上記6カ国で得られた結果を、同年7月に実施された内閣府大臣官房政府広報室「男女共同参画社会に関する世論調査」の結果と比較分析を行った。また、1982年（昭和59年）に内閣総理大臣官房内政審議室実施の「婦人問題に関する国際比較調査」と同様の質問項目については、それぞれの調査の時系列比較を行った。

なお、1982年調査については、女性のみを対象として実施され、韓国では実施されていない。また、ドイツは西ドイツを対象国としている。

**6. 検討委員会の設置**

本調査の実施に当たっては、下記の学識経験者による協力を得た。

袖井 孝子	お茶の水女子大学教授
岩男 壽美子	武蔵工業大学教授
奥山 明良	成城大学教授
吉野 諒三	文部科学省統計数理研究所助教授